

母塾

VOI-44

2020-11-2



新小岩幼稚園・未就園児クラス

illustrated by kurumi

『あの毎日が運動会だったのね』 いのはなはるこ

「タラララララ ラララー♪」とカスタの体操のメロディー。
毎回、年長さんが入場してくる姿を見ると涙が出てきます。
今年で我が家の6人の子の17回の運動会が終わりました。
お父さんたちの「台風の目」や、お母さんたちのダンス、綱引きなど…。
たくさんのプログラムはできませんでした。特別の園庭での運動会です。

おとなは子どもの成長の成果を見たいと思います。
大きな賑やかな発表の場があれば嬉しいです。
私もあの16回の運動会のイメージが固まっていました。
あの運動会が体験できないのは可哀そうだな、と思っていました。

それでも今年の年長さんの顔もとても誇らしげでした。
堂々とひとつひとつのプログラムに取り組む姿を見てハッと気づきました。
成果だけしか気にしていなかったと。
年長のロクは夏休み明けから縄跳びをしていました。
練習を積んでやっと少し走り縄跳びができるようになりました。
幼稚園の帰りの自転車ではいつもリレーの報告をしていました。
「今日ね、2回とも白チーム勝ったんだよ。」
「今日ね。転んじゃったけれど、コウヘイ君がその分速く走ってくれたんだよ。」
私は「ふーん、そうなんだ、運動会で見せてね。」と軽く答えていたのです。
子どもにとっては「運動会のための縄跳びやリレー」ではなかったのです。
幼稚園で先生とお友だちと、毎日毎日運動会をしていたのです。
毎日が本番だったのですね。
当日は夏からの長い長い運動会の最後の日。
ととてもすっきりしたやり切った表情をしていました。

harukoinohana1717gmail.com